

お困りごとをすばやく解決

消耗品の交換から万一のトラブル対応まで、カスタマーエンジニアや営業担当者の訪問を待つことなく、すばやく解決できます。

まずは、3WAYの「ヘルプ」で自己解決をお手伝い



複合機の操作パネル上でお困りごとを検索・確認できます。ヘルプ画面と設定画面を簡単に切り替えられ、情報を都度確認しながら、スムーズに操作することができます。



複合機の操作パネルに表示されたQRコードからモバイル端末でもヘルプ情報の検索や確認ができます。複合機から離れてPCに設定が必要な場合も、モバイル端末を見ながら設定できます。

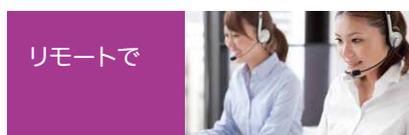


公式サイトをサポート情報も充実。複合機のヘルプ情報と同じカテゴリに整理されているので、複合機で確認していた情報を、自席のPCに戻って引き続き確認できます。

画質がおかしいと思ったら

操作パネルのホーム画面上に「総合画質調整」ボタンを用意しました。従来は管理者が個々に操作していた自動階調補正、面内ムラ調整を、ユーザーが簡単に実施できます。

それでも解決できない時は、「リモートアシスタンス」でオペレーターがご案内



リモートで

自己解決できなかった場合には、必要に応じてコールセンターのオペレーターが対応します。センターからお客様の複合機にアクセスし、操作パネルを共有しながら指差し機能やペン機能を使って解決までわかりやすく案内します。

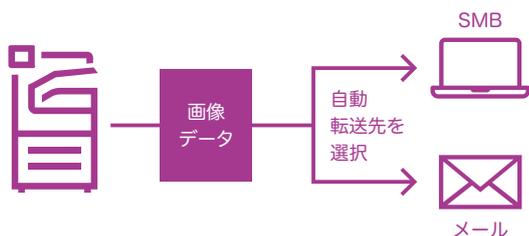
管理者からメッセージを伝えられる「お知らせ表示」

管理者が作成した文字や画像によるメッセージを操作パネルに表示できます。表示される時間や曜日も指定することも可能です。



ファクス送信文書を保存

ファクス送信文書を画像データとして保存できます。ファクス送信と同時に、あらかじめ指定した[SMB転送先]または[メール送信先]に同じ文書を自動転送します。ファクス送信文書のイメージログを自動的に残せるようになったことで、わざわざ紙文書をファイリングしなくても、情報の管理・監視・追跡が可能になり、情報漏えいリスクを低減します。



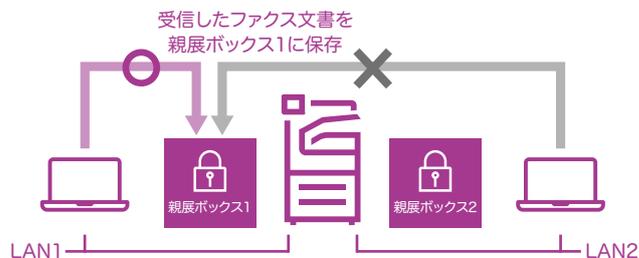
1台の複合機を2部門で安心して利用可能

オプションで2つめのイーサネットを増設可能。たとえば社内用と来訪者用、基幹システム接続用と事務用でユーザーを分けたり、シェアオフィスで使用したりなど、ネットワークを分離した、セキュアな出力環境を構築できます。

※ オプション。
※ プリント機能とボックスジョブフローのSMB転送のみ。プリント機能の対応プロトコルはTCP/IP (Ipd, Port9100) 限定。

ペーパーレスファクス受信の運用がさらに安心

ペーパーレスファクス受信文書を保存する親展ボックスで使用可能なネットワークを選択できるようになりました。これにより、セカンダリーイーサネットで2系統のLANおよび増設G3ポートで2回線のファクスをご利用される場合、ファクス受信文書をそれぞれのネットワークでのみ確認できるようになります。



同一ラインアップで機器の配置も便利に

連続複写速度25~70枚/分までの幅広い速度レンジを同一のラインアップでカバー。複数台導入する場合、操作性や設定方法、消耗品などの共通化を図ることができ、使用量に応じた機器の配置も可能になります。